

開催日：2025年10月18日（土） 15：00～17：07

場所：汚水処理場 管理棟

出席者（敬称略）理事：青木／酒井／中嶋／山本

監事：今村／森田

議事録作成：森田

1：会計報告

報告（中嶋理事）

9月期月次会計チェックを10月10日に実施

第2四半期会計監査を10月16日に実施

（1）収入、支出実績について

収入について、累計実績が昨年同月と比較し、約16万円多い。

（2）支出実績の詳細について

支出累計の予定が50%に対して実績が38%なので順調に見えるが、設備修繕費等の大きな出費がまだ支出されていないため。

汚水電気使用料について、電気使用量を減らす取組が功を奏しており、8月と比較して、9月の電気料金単価を低く抑えることができた。

「処理施設運用費」の実績累計全般について、昨年同月と比較して、汚水電気使用料は60万円増加しているものの、汚泥処理費は31万円減少、各種薬品類についても48万円減少したため、現時点で67万円減少している。

事務所運用費については、草刈り作業中の事故による修理と管理棟のエアコン取付工事（いずれも予算外）があり、予定よりも大幅に増加している。

（3）滞納者状況

滞納状況が解消する組合員もいるが、督促状を出しても無視をし続ける悪質な組合員もあり、徐々に滞納金額が増えている状況にある。

現時点での滞納者は39名、滞納金額は約440万円。

改めて弁護士に相談し、滞納状況を少しでも改善するためのアドバイスをいただきに行くことを合意した。

2：業務報告

報告（青木理事長）

施設担当理事が欠席のため、青木理事長による説明があった。

（1）施設関連実施事項

10月8日に第2中継ポンプ場の排水ポンプ更新工事が実施された。

予算計上分で約456万円。

（2）施設関連事故対応

汚水処理場の流入ポンプが漏電のため停止した。

その影響で流入部が満水になり、排水ポンプにより緊急対応を実施した。流入ポンプの漏電の原因として考えられているのは、雨水などの不明水に含まれる「砂」などによって水分の侵入を防ぐ「シール」が摩耗し、それにより浸水したことによるものと推測される。

3：その他

今後の管理組合運営や各家庭の汚水処理等について、意見交換が行われた。

- ・今のまま管理組合を運営し続けていても、じり貧であり、いつか破綻するのは明らか。
- ・千福が丘の汚水処理の将来について、今のうちからある程度方向性を決めていく必要があるのではないか？
- ・いろんな条例や制限があり、どういう方法が実施できるのか、様々な視点で調べていかないと道筋が見えない。
- ・現在使用しているマンホールや汚水管路等の撤去等、必要なコストはおいておくとしても、一番簡単な方法は、全世帯個別浄化槽にすることではないか？
- ・この問題を解決するためには、管理組合だけでは解決できない。裾野市や東急も交える必要があるし、組合員にも意見を聞く必要があるが、いずれにしても、現段階でどういう選択肢があるのかは調査する必要があるかもしれない。

といった意見が出た。